

インドネシアでは、首都圏のタンジュン・プリオク港の貨物取扱量増加や、それに伴う慢性的な渋滞による物流の滞留を解消するため、西ジャワ州スバン県にパティンバン新港を建設するプロジェクトが進んでいます。今号では、新港建設の背景と概要、建設後の効果についてお伝えします。

### 1. パティンバン新港建設の背景

ジャカルタ首都圏は、インドネシアのGDPの約3割を占め、製造業の進出や海外投資が集中することから、貨物取扱量が大きく伸びています。近年の急激な経済成長で、首都圏唯一の国際港湾であるタンジュン・プリオク港の年間コンテナ取扱量は2009年の380万TEUから2014年には650万TEUと5年間で1.7倍に拡大しており、今後数年のうちに取扱可能量の上限

(820万TEU)に到達すると予測されています。また、貨物取扱量の増加に伴い、

港湾混雑による物流の停滞、道路の慢性的な渋滞が発生しており、ビジネスを展開する上での障壁となっています。

現在、タンジュン・プリオク港では新コンテナターミナル(取扱量450万TEU)が建設中で一部は操業を始めていますが、2025年のコンテナ需要(1,024万TEU)には対応できないと予測されます。そのため、政府は首都圏郊外に新港を建設することで、貨物輸送の迅速化、首都圏の貨物交通量の分散を図ろうとしています。

なお、当初は西ジャワ州カラワン県チラマヤに新港が建設される予定でしたが、航行する船舶による沖合の石油ガス施設への影響が懸念されたため、2016年に代替地として西ジャワ州スバン県パティンバンが選定されました。

昨年11月、日本政府はパティンバン新港建設事業でインドネシアへ有償円借款1189億円を供与しています。また、第1期・パッケージ1工事は日本とインドネシアの企業5社からなる合弁事業体(JV)が受注しており、今年7月中の着工、2019年中の一部開港を目指しています。

完全開港後の新港の年間コンテナ取扱量は80万TEU、年間完成車取扱量は36万台を見込んでおります。インドネシア政府はタンジュン・プリオク港と同規模の国際港湾ターミナルにするために、2024年以降も拡張を続ける予定です。



参考：パティンバン新港の位置 (Google Map より)

### 2. パティンバン新港の概要

名称：Patimban Port (パティンバン港)

所在地：Patimban, Subang Regency, West Java, Indonesia

(インドネシア西ジャワ州スバン県パティンバン地区)

着工：2018年7月(予定)。2019年に一部開港、2022年に完全開港予定。

年間最大取扱量(予定)：2037年までに約750万TEUに拡張予定。

年間完成車取扱量(予定)：2037年までに約60万台に拡張予定。



### 3. パテインバン新港建設後の効果の見込み

パテインバン新港は日系企業の製造拠点が集積する西ジャワ州ブカシ県周辺の工業団地群の東部にあり、工業団地群からの距離が70kmとタンジュン・プリオク港と同程度であるため、物流が分散し、既存港への一極集中が軽減される見込みです。さらに、物流コストの削減、ジャカルタ首都圏の渋滞改善、首都圏全体の物流の効率化が見込まれております。また、物流の改善により、ジャカルタ首都圏の投資環境改善、経済発展の促進、インドネシアの持続的経済成長への寄与が期待されています。

#### 【弊社グローバルネットワーク ～インドネシア営業・損害サービス体制のご紹介～】

弊社現地法人である PT. Asuransi Tokio Marine Indonesia が、お客様の事業活動に必要な保険商品をご提供しております。また、損害サービスについても、保険金のお支払に加え、弊社シンガポール現地法人 TM Claims Service Asia Pte. Ltd. と連携して、ロスプリベンション・リスクマネジメントのご提案を行っております。インドネシアでの保険のお引受に関するお問合せは、弊社営業担当へお願い致します。

##### PT. Asuransi Tokio Marine Indonesia

Sentral Senayan I, Lantai 3 & 4Jl. Asia Afrika No. 8 Jakarta 10270

E-mail: [customervice@tokiomarine.co.id](mailto:customervice@tokiomarine.co.id)

Tel: +62 21 572 5772 Fax: +62 21 572 4007

##### TM Claims Service Asia Pte. Ltd.

20 McCallum Street, #14-01 Tokio Marine Centre, Singapore 069046

E-mail: [tmcsa\\_cargo@tokiomarineasia.com](mailto:tmcsa_cargo@tokiomarineasia.com)

Tel: +65 6592 6090 Fax: +65 6634 0885



#### 【出典】

『日系3社などと近く契約 パテインバン港、7月着工』, NNA ASIA, 2018年5月22日, <https://www.nna.jp/news/show/1765169>

『パテインバン港建設、JV5社が500億円受注』, NNA ASIA, 2018年7月18日, <https://www.nna.jp/news/show/1789382>

『インドネシアにおける海洋国家構想と海事政策及び海事産業の動向に関する調査』, 一般社団法人 日本中小型造船工業会・一般財団法人 日本船舶技術研究協会, 2017年3月, <https://www.jstra.jp/html/PDF/indonesia.pdf>

『事業事前評価表』, JICA, 2017年, [https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2017\\_IP-577\\_1\\_s.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2017_IP-577_1_s.pdf)

(『パテインバン港開発事業(第一期)』 <https://www.jica.go.jp/oda/project/IP-577/index.html> に掲載)

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.ht](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.ht)